

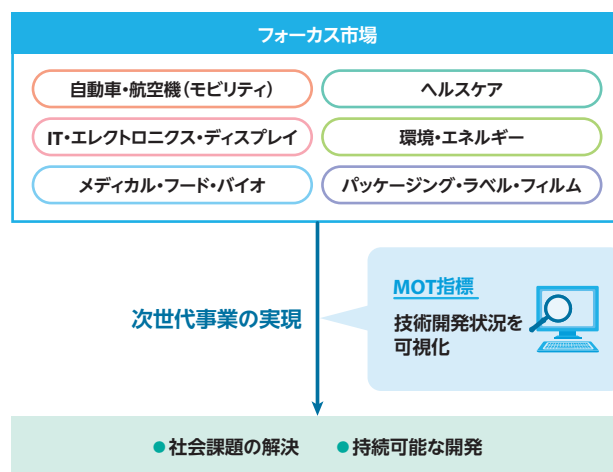
# イノベーション (MOT) 指標の進捗

MCHCグループでは、技術全体の開発進捗を計る指標として、MOT指標を導入しています。

本指標は、イノベーション活動を推進する上で重要となる、研究開発の効率性 (R&D 指標群)、技術の優位性 (知的財産指標群)、および先端技術やデジタルトランスフォーメーション (DX) への取り組みによる技術の進化 (先端技術指標群) の3つの指標群から構成されており、各指標群の進捗を定量的にモニタリング・活用することで、グループ全体の技術力強化に取り組んでいます。

中でも特に、フォーカス市場における次世代事業化を加速することで、社会課題の解決に貢献していきます (P.32 参照)。

## MCHCグループの注力領域



## 2019年度レビュー

2019年度のR&D指標群と知的財産指標群は、2020年度の計画値に向けて順調に進捗しています (下図参照)。

MOT指標	評価ポイント	2019年度概要
R&D指標群	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発の進捗度 (マイルストーン達成度率等)</li> <li>技術成果の貢献度 (新商品売上比率等)</li> </ul>	新商品売上比率が2018年度より向上した。特に、三菱ケミカルと田辺三菱製薬の新商品化率が高い結果となった。
知的財産指標群	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業戦略上の知財の位置付けの明確さ</li> <li>競争力獲得に向けた取り組み状況</li> <li>必要な知財獲得の状況 (国内外特許出願件進捗等)</li> </ul>	共同研究開発における特許出願で、大陽日酸は2018年度から大きな進歩を遂げた。全体的に2018年度より向上しているが、一層の戦略的な取り組みが必要。
先端技術指標群	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規技術創出やDXなど最新技術の積極的導入などの進捗</li> </ul>	DXは全社的な取り組みが行われており、成熟度は2018年度よりも向上。成果も出つつあり、今後の展開に期待。

APTSIS 20の最終年度である2020年度では、達成率100%をめざしてイノベーションのマネジメントを行っていきます。特にDXについては、MCHCグループ全体のデジタルネイティブ文化を醸成するとともに、緊密なコラボレーションを推進していきます。

引き続き、MCHCグループ全体の競争力強化・イノベーションの高度化に向け、MOT指標の有効な活用法を検討していきます。

## 2020年度計画値に対する各MOT指標群の2019年度実績

